

柏台小の向上のために ～令和6年度学校評価アンケート結果より～

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。さて、学校評価アンケートの集計結果についてご報告します。

【学校教育目標】 夢を広げ 明るく たくましく生きる 子どもの育成

- | | | |
|------|------------------------------|-------|
| 徳育 | 「自他のよさを尊重し、仲良く助け合う子」の育成 | 項目①～④ |
| 知育 | 「学びの楽しさがわかり、主体的に学習に取り組む子」の育成 | 項目⑤～⑧ |
| 体育 | 「最後までやり通す子」の育成 | 項目⑨～⑫ |
| 連携信頼 | 「保護者・地域と連携し、信頼される学校」の実現 | 項目⑬～⑯ |

アンケート結果 数値の単位は(%)

A とてもそう思う B そう思う C あまり思わない D ほとんど思わない

	評価項目	保護者				児童			
		A	B	C	D	A	B	C	D
①	学校や学級で楽しく過ごしている。	69	27	1	1	74	21	3	1
②	思いやりの心を持ち、良い友達関係をつくっている。	55	40	3	0	75	23	2	0
③	明るい挨拶や丁寧な言葉遣いをしている。	32	52	13	2	51	42	5	2
④	協力して、掃除や係活動の仕事に取り組んでいる。	59	36	3	0	72	27	2	0
⑤	進んで学習しようとする姿勢や意欲がみられる。	24	50	20	5	48	39	11	2
⑥	学習の内容をよく理解し、基礎学力が身に付いている。	26	53	18	2	55	40	5	0
⑦	保護者、先生、友達の話をきちんと聞いている。	37	47	14	0	67	30	3	0
⑧	家庭で毎日、進んで勉強している。	20	36	35	9	38	40	17	5
⑨	進んで体力作りに取り組み、楽しく運動する姿勢がみられる。	42	39	16	2	68	19	10	3
⑩	早寝、早起き、朝ごはん等、規則正しい生活ができています。	44	41	13	2	57	29	11	3
⑪	取り組んだことを最後までやり遂げる力が付いている。	32	49	17	1	59	35	5	2
⑫	ルールやマナーを守り、安全に気を付けて生活している。	52	42	6	0	75	23	3	0
⑬	学校の教育目標や経営方針が保護者・地域に伝えられている。	29	52	18	1	/	/	/	/
⑭	学校行事・学習参観等を通して、児童の学校生活の様子が伝えられている。	47	47	5	0	/	/	/	/
⑮	学校は保護者からの連絡・相談に対して、適切に対応している。	60	37	2	0	/	/	/	/
⑯	子供たちは、地域の行事等に積極的に参加している。	23	44	26	6	/	/	/	/

【集計結果から】

1 「自他のよさを尊重し、仲良く助け合う子」の育成（項目①～④）について

保護者の評価は、肯定的回答がほとんどの項目で90%以上の結果となっています。「とてもそう思う」(A)の評価に限ってみると、保護者と児童の間では認識に差があることがわかります。保護者の方が、厳しめに見ていることがうかがわれます。

一方で児童の自己評価は、肯定的回答がすべての項目で100%近い評価となっています。その中で特徴的なところとして、「明るい挨拶や丁寧な言葉遣い」の項目において、「とてもそう思う」(A)の評価が他よりも低いところです。日ごろから子どもたちは、元気よく登校時の挨拶をし、セーフティーウォッチャーの皆様からお褒めの言葉をいただいています。また、来校者に対しても気持ちの良い挨拶をしたり、工事業者に対して、「ありがとうございます」と大きな声でお礼をしたりすることができる子どもが多いです。このような実態を子どもたち自身がより肯定的に受け止め自らの自信につなげ、自己肯定感を高めていくことができるようにしていきたいと考えます。

2 「学びの楽しさがわかり、主体的に学習に取り組む子」の育成（項目⑤～⑧）について

日ごろから子どもたちは、それぞれの学級で楽しく意欲的に学習に取り組んでいます。学習に関する評価は、保護者と児童ともおおむね肯定的な回答となっています。「進んで学習しようとする姿勢や意欲が見られる」の項目において、子どもたちは、日ごろの自分たちの姿を肯定的にとらえているようです。また、「話をきちんと聞く」という項目において97%の子どもたちが肯定的に評価しています。今年度は「対話」に焦点を当てた授業改善を行ったことも、良い影響を与えていると考えます。一方で肯定的な評価に大きな差が出ていた項目が、家庭学習です。今年度家庭学習の方法等を子どもたちに示しました。その結果として、子どもたちの家庭学習が増えたとの認識があると考えますが、保護者の期待する姿までは到達していない可能性がうかがえます。子どもたちは毎日ではなく週に何日かの家庭学習をしていることを、よくやっているととらえているところがあるかもしれません。毎日継続して家庭学習ができるよう指導を継続していきます。

3 「最後までやり通す子」の育成（項目⑨～⑫）について

柏台小の子どもたちは、規範から大きく逸脱することはなく落ち着いた学校生活を送ることができています。子どもたちは、「ルールやマナー」に関する項目をととても高く自己評価しています。項目①～④の領域にある「思いやり」の自己評価が高いことと相まって、互いを思いやり規範意識をもって学校生活を送っていることがわかります。一方で保護者の「ルールやマナー」に関する評価「とてもそう思う」(A)が、子どもたちのそれとは差が出ているところは、「もっとそうあってほしい」という期待の表れと考えます。学校全体の道徳指導を通して、子どもたちがより高みを目指していけるよう指導していきます。

4 「保護者・地域と連携し、信頼される学校」の実現（項目⑬～⑯）

この項目は、保護者・地域との連携に関するものですが、地域の行事に子どもたちが参加することに関し、「積極的」と肯定的に評価していただきました。コロナによる制限がなくなり、地域行事の復活が影響していると思われる。また、社会体育振興会や育成委員会、PTA 本部の皆様のご尽力があり、様々なイベントに子どもたちが楽しく笑顔で参加できていることに心から感謝申し上げます。学校内での子どもたちの様子や経営方針等を、学校・学年だより、すぐーる等を活用してより多くの方に周知できるよう取り組んでまいります。